

(1) 手動年金管理を使用しての年金管理の一連の流れについて。

1. 登録の入力

出願手続: フォーム

経過手続 登録

New Edit Delete IDS提出 転記

IDS 追完 期限補正

請求書 提出書 通知状 受任票

登録日 2008年3月3日 経表示 DNTrn 添付DN

応答元指令 2329

送付日

調整期間 受領日 2009年3月9日

Kempos Ver.6

【案内】
登録日 [2008/3/3] を年金起算日として設定しました。

OK

・上記のように登録日を年金起算日に設定した旨のメッセージが表示されます。

・登録入力後の出願台帳の画面

出願台帳: フォーム

出願台帳

完全一致 整理番号 0000-US Report Preview Print 自願 内内 特 手続追加

出願台帳(横) Revival Copy Edit All Entry New Write Delete 審査

整理番号 0000-US JS特許/新 管理者 願書整理番号

796 US 特 内外 担当者 担当弁理士

年金期限 2011/09/03

顧客Ref A01 代表出願 共願人等 1 発明者 0 Your Ref

顧客名 アルプス電気株式会社 分担率% 0 識別番号 013001009

部署 顧客担当 山本 一郎

存続期限 2024/03/03

優先権 出願日 2004年3月3日 公開日 公告日 登録日 2008年3月3日

原出願 出願No 11/222,444 公開No 公告No 登録No

請求項 請求期限 審査請求

要約・関連 審査経過 出願書誌 図面・包袋 外国出願 外国期限

期限案内 年金更新 受任・他 発明者 権利者 数量 任意期限

納付年 3月6日

名称 English 印刷済

年金回数

年金起算 2008年3月3日

年金期限 2011年9月3日

納付日

手動期限

更新回数

出願経過

- ・年金起算日がセットされています。(登録日)
- ・納付年がセットされています。(納付年=3、納付月=6)
- ・存続期限がセットされています。(出願日から20年)
- ・年金期限がセットされています。(登録日から3年6ヶ月)

2. 手動年金管理で年金管理を行う方法

登録後の年金管理を手動年金管理にて行うために、表を作成します。
出願台帳画面で、「手動期限」ボタンを押しますと以下の画面が開きます。
ここで、「自動作成」ボタンを押した状態の画面です。

回数	管理中	年度	月	年金期限	期限内	顧客回答	納付指示	納付報告	領収書
1	<input checked="" type="checkbox"/>	7	6	2011/09/03					
2	<input type="checkbox"/>	11	6	2015/09/03					
3	<input type="checkbox"/>	15	6	2019/09/03					

- 米国の場合は、年金は3回ですので、3行分の管理レコードが作成されます。
- 登録日(2008/3/3)から3年半(2011/9/3)、7年半(2015/9/3)、11年半(2019/9/3)の3回分の期限が自動で設定されます。その場合の年度は7年半、11年半、15年半となります。
- 現在の年金期限は3年半後の2011/9/3ですので、それと一致する回数=1の管理中がオンになります。

手動年金管理の設定を行なった後の出願台帳画面です。

- 年金回数に1がセットされる。
これは、現在管理中の回数がセットされたものです。

3. 納付報告(期限更新)の入力画面

登録後、最初の納付報告を入力する画面です。

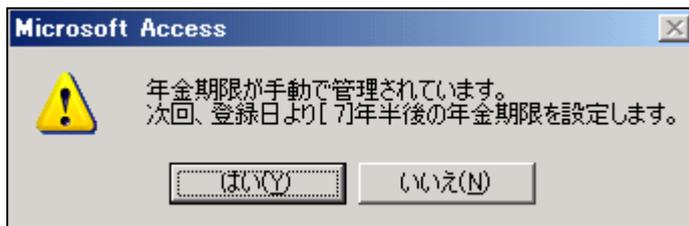
外国出願の場合、KEMPOS標準では、納付報告で年金期限の更新を行なうように設定しています。

米国の場合、1回に納付する年数を「4」と指定していますので、次回納付する年数は、現在の納付年数が「3」となっていますので、4から7となります。

年金期限は7年分（+半年）納付したものと計算されます。

ただし、手動年金管理表を使用して管理していますので、動作としては、手動年金管理表から次回の年金期限を取得しています。

- ・転記ボタンを押した時に、以下のメッセージが表示されます。



- ・年金期限は手動年金管理表によって管理されています。
- ・管理表の年度が11のものを読み込み、次回期限をセットします。
ここで年度は次回年度をあらわしていますので、年度11の期限は、登録日から7（11-4）年半後の日付(2015/9/3)となります。この日付が次回年金期限にセットされます。
- ・米国特許の場合、上記のようなメッセージとなります。
EP等の場合、「次回、第3年度分の年金期限を設定します。」のようになります。
同じパターンで表示すると、次回は11年度ということになって、実際の感覚と合わないのので、米国の場合のみ上記のような表現にしています。

納付報告を入力した後の手動年金管理の画面です。

年金・更新期限設定

整理番号 0000-US US特許/新

管理終了 自動作成 全行削除

Edit New Write Delete

存続期限 2024年3月3日 年金起算 2008年3月3日 納付済年 7 6

出願日 2004年3月3日 登録日 2008年3月3日 年金期限 2015/09/03

出願番号 11/222,444 登録番号 代理人

年度は次回年度です。出願台帳の納付年に年金納付年(通常は1、米国は4)をプラスした値です。EP特許は3から始まり米の特許は7(3、5の3に4をプラス)からです。この表に基づいて納付年・年金期限を設定した場合、納付年には、年度-年金納付年(通常は1、米国は4)が、年季期限は、年金期限の値がセットされます。

回数	管理中	年度	月	年金期限	期限内	顧客回答	納付指示	納付報告	領収書
1	<input type="checkbox"/>	7	6	2011/09/03				2011/07/07	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	11	6	2015/09/03				2015/07/08	
3	<input type="checkbox"/>	15	6	2019/09/03				2019/08/08	

- ・管理中フラグは回数「2」に移動しています。
- ・回数「2」の年金期限「2015/09/03」が次回年金期限にセットされています。

納付報告を入力した後の出願台帳画面です。

出願台帳

完全一致 整理番号 0000-us Report Preview Print 自願 内内 特 年金 手続追加

Revival Copy Edit All Entry New Write Delete

整理番号 0000-US JS特許/新 管理者 願書整理番号

796 US 特 内外 担当者 担当弁理士 年金期限 2015/09/03

顧客Ref A01 代表出願 共願人等 1 発明者 0 Your Ref

顧客名 アルプス電気株式会社 分担率% 0 識別番号 013001009

部署 顧客担当 山本 一郎 存続期限 2024/03/03

優先権 出願日 2004年3月3日 公開日 公告日 登録日 2008年3月3日

原出願 出願No 11/222,444 公開No 公告No 登録No

請求項 請求期限 審査請求

納付年 7月6日

要約・関連 審査経過 出願書誌 図面・包袋 外国出願 外国期限

期限内 年金更新 受任・他 発明者 権利者 数量 任意期限

年金回数 2 年金起算 2008年3月3日 手動期限

年金期限 2015年9月3日 出願経過

納付日 更新回数

- ・年金回数は「2」に更新されています。
- ・納付年は「7」に更新されています。
- ・年金期限は「2015/9/3」に更新されています。

4. 2回目の納付報告

最初の納付報告と動作は同じです。納付年は4年更新されて、7から11となります。

2回目の納付報告を入力した後の手動年金管理の画面です。管理中は回数「3」に移動しています。

回数	管理中	年度	月	年金期限	期限内	顧客回答	納付指示	納付報告	領収書
1	<input type="checkbox"/>	7	6	2011/09/03				2011/07/07	
2	<input type="checkbox"/>	11	6	2015/09/03				2015/07/08	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	15	6	2019/09/03				2019/08/08	

2回目の納付報告入力後の出願台帳の画面です。年金回数、納付年、年金期限が更新されています。

5. 3回目（最後）の納付報告

最後の納付報告を入力した場合の動作です。

The screenshot shows a web application window titled '出願手続：フォーム'. The main content area is titled '経過手続 納付報告'. There are several buttons and input fields, including 'New', 'Edit', 'Delete', 'IDS提出', '転記', 'IDS', '追完', '期限補正', '請求書', '提出書', '通知状', '受任票', '報告日' (2019年9月9日), '経表示', 'DNTrn', '添付DN', '応答元指令', '送付日', '2347', '調整期間', and '受領日' (2009年3月10日). A Microsoft Access dialog box is open in the foreground with the following text:

年金期限が手動で管理されています。
 今回の納付で完納となります。次回年金期限はクリアします。
 併せて応答期限に「満了」とセットして、満了日を応答期限として管理しますか。

Buttons: はい(Y) and いいえ(N)

- 今回の納付で完納となる旨のメッセージが表示されます。
- 完納となった場合、年金期限をクリアします。
- 手動期限管理で管理している場合の完納の判断は、次の期限を設定するレコードがあるか否かで判断しています。今回のケースであれば、次回は回数「4」となるわけですが、回数「4」はありませんので、今回で完納ということになります。
- ここで「はい」を選択した場合、応答期限名に「満了」、応答期限日に満了日がセットされます。これは期限ではありませんが、満了日を知る目安としています。通常だデフォルトの「いいえ」とします。

最後の納付報告を入力した後の、手動年金管理の画面です。

The screenshot shows a web application window titled '出願期限：フォーム'. The main content area is titled '年金・更新期限設定'. There are several buttons and input fields, including '管理終了', '自動作成', '全行削除', 'Edit', 'New', 'Write', 'Delete', '整理番号' (0000-US), 'US特許/新', '存続期限' (2024年3月3日), '年金起算' (2008年3月3日), '納付済年' (15, 6), '出願日' (2004年3月3日), '登録日' (2008年3月3日), '年金期限', '出願番号' (11/222,444), '登録番号', and '代理人'. A table is displayed with the following data:

回数	管理中	年度	月	年金期限	期限案内	顧客回答	納付指示	納付報告	領収書
1	<input type="checkbox"/>	7	6	2011/09/03				2011/07/07	
2	<input type="checkbox"/>	11	6	2015/09/03				2015/07/08	
3	<input type="checkbox"/>	15	6	2019/09/03				2019/08/08	

The '管理中' column is highlighted with a red box, and all checkboxes are unchecked. A red box also highlights the first row of the table.

- 管理中フラグは全てクリアされてオフになっています。

最後の納付報告を入力した後の出願台帳です。

The screenshot shows a software window titled "出願台帳: フォーム" (Application Register: Form). The main title is "出願台帳" (Application Register). The interface includes a menu bar with options like "Revival", "Copy", "Edit", "All Entry", "New", "Write", and "Delete". Below the menu, there are several data entry fields and buttons. Red boxes highlight the following fields:

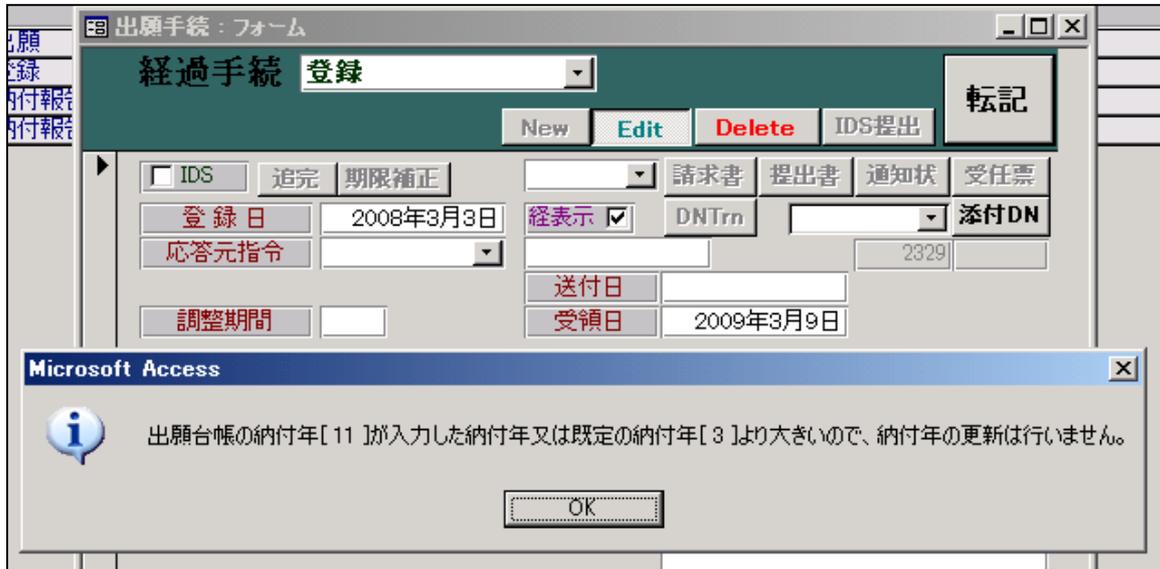
- 納付年 (Payment Year): 15 月 6 (15 months 6 days)
- 年金回数 (Annual Fee Count): 0
- 年金期限 (Annual Fee Term): (Empty)
- 納付日 (Payment Date): (Empty)

Other visible data includes: 整理番号 (Registration No.) 0000-US, 顧客名 (Applicant Name) アルプス電気株式会社 (Alps Electric Co., Ltd.), 出願日 (Filing Date) 2004年3月3日, and 登録日 (Registration Date) 2008年3月3日.

- 年金回数は空白（ここでは0）になっています。
手動年金で現在管理している回数はないということを意味しています。
- 納付年は11から15に更新されています。
- 年金期限はクリアされています。

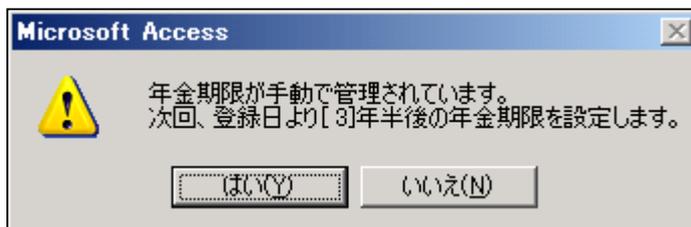
6. 完納前に登録の備考を修正した場合の動作。

登録後に必要があって、再度、登録の画面を開いて備考の入力を行なった場合の動作です。



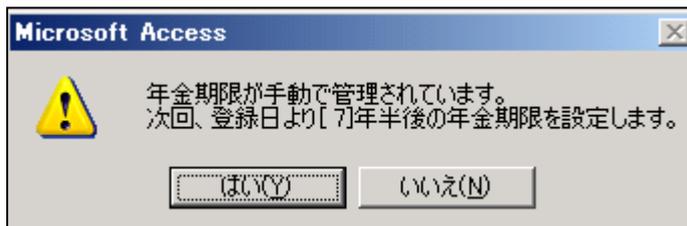
- ・米国の登録で、納付年の入力はありませんが、すでに出願台帳の納付年には現在納付済みの年数がセットされていますので、上記のメッセージが表示されます。
出願台帳の納付年は変更しない旨のメッセージです。
修正を行なった場合には、通常このメッセージが表示されます。

次に以下のメッセージが表示されます。



米国の登録は、年金期限の計算を行うように設定されていますので、上記のメッセージが表示されます。手動年金管理で管理されている年度の期限をセットしますので、現在の年度及び年金期限と同じ値を上書きすることになります。

仮に、一回目の納付報告を入力して、納付年が7年（半）となっている状態で、登録の修正を行なった場合以下のように、設定する年金期限は、7年半後の日付となります。



7. 完納した後で、登録の備考を修正した場合の動作。

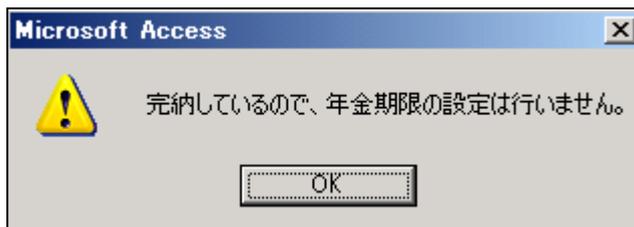
The screenshot shows a software window titled "出願手続 : フォーム" (Application Procedure : Form). The main area is a registration form with a dropdown menu set to "経過手続 登録" (Progress Procedure Registration). Buttons include "New", "Edit", "Delete", "IDS提出", and "転記". Below these are fields for "IDS" (unchecked), "追完" (Completed), "期限補正" (Term Correction), "登録日" (2008年3月3日), "経表示" (checked), "DNTTrn", "添付DN", "送付日", and "受領日" (2009年3月9日). An "OK" button is highlighted in the message box.

Microsoft Access

出願台帳の納付年[11]が入力した納付年又は既定の納付年[3]より大きいので、納付年の更新は行いません。

OK

- 完納している場合でも、上記のメッセージは表示されます。更新しない旨のアナウンスなので、そのままOKで進みます。



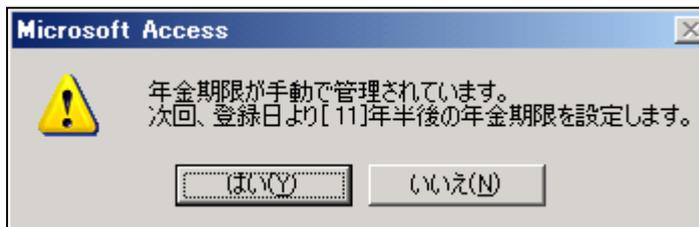
- 完納していない場合には、年金期限を設定する旨のメッセージが表示されましたが、完納している場合は、年金期限の設定は行いませんので、上記メッセージが表示されます。これも行なわない旨のアナウンスなので、そのまま進みます。
- したがって、完納している場合は、何もしない旨のアナウンスはありますが、更新処理は行いません。

8. 完納前に納付報告の備考を修正した場合の動作

完納前に納付報告の備考を修正した場合の動作です。登録の後の場合と同様です。

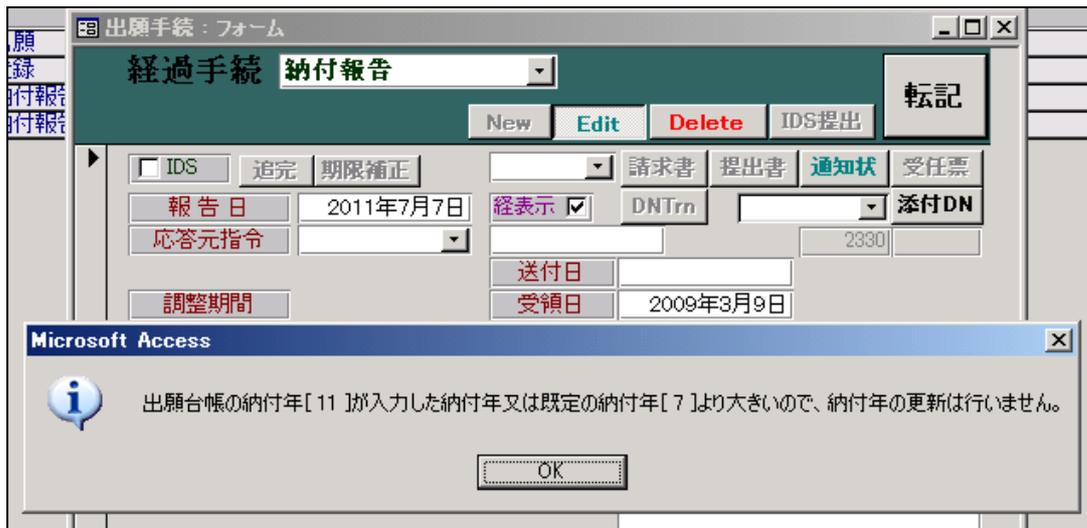


- ・納付報告で入力した納付年よりも出願台帳の納付年が大きい場合に、上記のメッセージが表示されます。出願台帳の納付年は変更しない旨のメッセージです。修正を行なった場合には、通常このメッセージが表示されます。

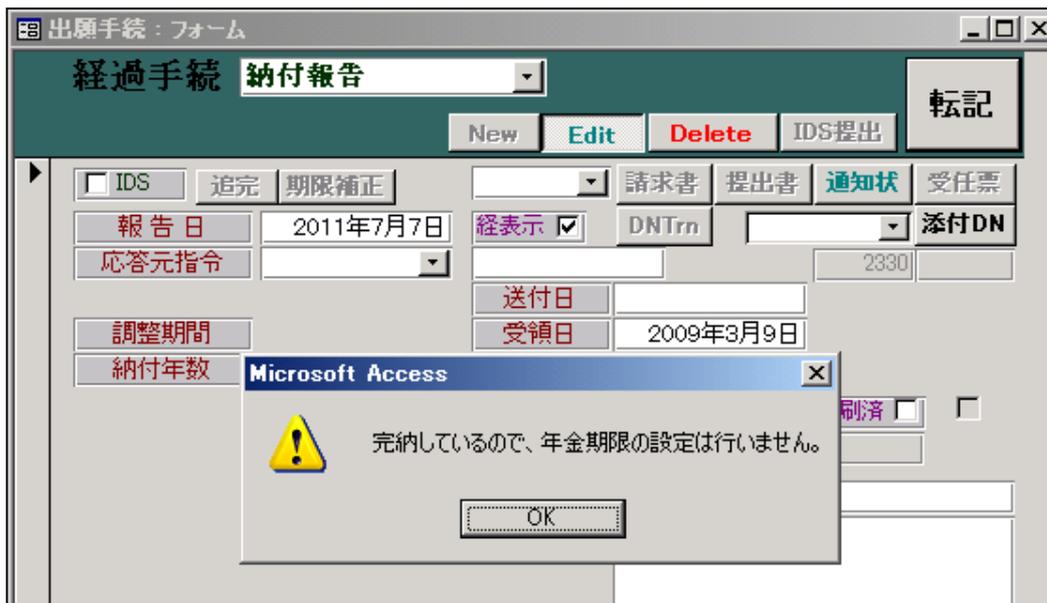


- ・仮に、2回目の納付報告を入力して、納付年が11年（半）となっている状態で、1回目の納付報告の修正を行なった場合、納付報告の納付年度は「7」ですが、設定する年金期限は、出願台帳の納付年に基づいて11年半後の日付となります。

9. 完納後に納付報告の備考を修正した場合の動作



- 完納している場合でも、上記のメッセージは表示されます。更新しない旨のアナウンスなので、そのままOKで進みます。



- 完納していない場合には、年金期限を設定する旨のメッセージが表示されましたが、完納している場合は、年金期限の設定は行いませんので、上記メッセージが表示されます。これも行なわない旨のアナウンスなので、そのまま進みます。
- したがって、完納している場合は、何もしない旨のアナウンスはありますが、更新処理は行いません。

2. 途中の納付報告の入力画面です。

出願手続：フォーム

経過手続 納付報告

New Edit Delete IDS提出 転記

IDS 追完 期限補正

請求書 提出書 通知状 受任票

報告日 2011年3月1日 経表示 DNTTrn 添付DN

応答元指令 2349

送付日

調整期間

納付年数 4 ~ 7

受領日 2009年3月10日

担当者 印刷済

文書名

備考 第4~7年分

- 途中の納付報告においては、特にメッセージは表示されません。
- 納付年、年金期限が更新されるのみです。

3. 最後の納付報告(完納)の入力画面です。

出願手続：フォーム

経過手続 納付報告

New Edit Delete IDS提出 転記

IDS 追完 期限補正

請求書 提出書 通知状 受任票

報告日 2019年8月1日 経表示 DNTTrn 添付DN

応答元指令 2354

送付日

調整期間

納付年数

受領日 2009年3月10日

担当者 印刷済

文書名

備考

Microsoft Access

今回の納付で完納となります。次回年金期限はクリアします。
併せて応答期限に「満了」とセットして、満了日を応答期限として管理しますか。

はい(Y) いいえ(N)

- 最後の納付報告の場合には、上記のメッセージが表示されます。
手動期限管理の場合と異なるのは、「応答期限に「満了」をセットして満了日を応答期限として管理するか」の選択があることです。通常は「いいえ」にしてもらえば良いです。
- 完納の判断は、手動期限管理で管理していない場合は、ここでの納付年数が、出願種別で設定されている最終納付年 (US 特許/新の場合「11」) を超えたか否かで判断しています。最終年度が設定されていない(0) 場合は、年金起算日から納付年数分納付した結果の次回期限が存続期限を越えたか否か(=を含む)で判断しています。

4. 完納前に登録の備考を修正

出願手続：フォーム

経過手続 登録

New Edit Delete IDS提出 転記

IDS 追完 期限補正

請求書 提出書 通知状 受任票

登録日 2008年3月3日 経表示 DNTrn 添付DN

応答元指令 2329

送付日

調整期間

受領日 2009年3月9日

Microsoft Access

出願台帳の納付年[11]が入力した納付年又は既定の納付年[3]より大きいので、納付年の更新は行いません。

OK

- ・年金期限設定のメッセージは表示されない。

5. 完納後に登録の備考を修正

出願手続：フォーム

経過手続 登録

New Edit Delete IDS提出 転記

IDS 追完 期限補正

請求書 提出書 通知状 受任票

登録日 2008年3月3日 経表示 DNTrn 添付DN

応答元指令 2329

送付日

調整期間

受領日 2009年3月9日

Microsoft Access

出願台帳の納付年[11]が入力した納付年又は既定の納付年[3]より大きいので、納付年の更新は行いません。

OK

Microsoft Access

完納しているので、年金期限の設定は行いません。

OK

- ・上記のメッセージが表示され、納付年、年金期限の更新は行なわれません。

6. 完納前に納付報告の備考を修正

The screenshot shows a software window titled '出願手続：フォーム' (Application Procedure: Form) with a dropdown menu set to '経過手続 納付報告' (Progress Procedure: Payment Report). The interface includes buttons for 'New', 'Edit', 'Delete', 'IDS提出', and '転記'. Below these are various input fields and buttons: 'IDS' (checkbox), '追完', '期限補正', '請求書', '提出書', '通知状', '受任票', '報告日' (2011年7月7日), '経表示' (checked), 'DNTrn', '添付DN', '応答元指令', '送付日', '調整期間', and '受領日' (2009年3月9日). A 'Microsoft Access' error dialog box is overlaid on the bottom, displaying the message: '出願台帳の納付年[11]が入力した納付年又は既定の納付年[7]より大きいので、納付年の更新は行いません。' (The payment year [11] in the application ledger is greater than the entered payment year or the default payment year [7], so the payment year will not be updated.) with an 'OK' button.

- 完納前に納付報告の修正を行なった場合の表示は最後の納付報告か、それ以前のものかによって異なるものとなります。最後でない場合は、上記のメッセージが表示されます。最後の場合は、特に何も表示されません。最後の納付報告の場合は、出願台帳の納付年と経過の納付年は同じなので、通常の入力として扱われます。

7. 完納後に納付報告の備考を修正

最後の納付報告でない場合は、以下のメッセージが表示されます。
最後の納付報告の場合、以下のメッセージは表示されません。

出願手続：フォーム

経過手続 納付報告

New Edit Delete IDS提出 転記

IDS 追完 期限補正 請求書 提出書 通知状 受任票

報告日 2015年7月8日 経表示 DNTrn 添付DN

応答元指令 2331

調整期間 送付日 受領日 2009年3月9日

Microsoft Access

出願台帳の納付年[15]が入力した納付年又は既定の納付年[11]より大きいので、納付年の更新は行いません。

OK

続いて、以下のメッセージが表示されます。

Microsoft Access

完納しているので、年金期限の設定は行いません。

OK

- 登録の修正と同様で、更新しないアナウンスのみです。